



利根山光人

Toneyama Kojin

第94号 平成29年6月1日

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花 15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808

利根山光人記念美術館 平成29年度企画展開催中

五十嵐 彰展

平成29年5月27日(土)～8月31日(木)

今回の企画展は「五十嵐彰氏 (1951-2015)」の作品を展示しています。

五十嵐氏は、高校で教師を務めながら、ひたすらに自然や植物の絵を描いていました。

五十嵐氏の知人 門馬経臣氏によると、教師時代は生徒に対して「自らの生きざまをさらすことが本来の仕事だ」「常に試行錯誤し、悩み、失敗し、くじけながら己の世界をつくれ」と言い続け、自らも毎日絵筆をとり続けていました。

さらに、病床でも思うように描けないと言いながらも、絵筆をとっていたと五十嵐夫人が話していました。

今回は遺作「環想」など29点を展示しています。ぜひ、五十嵐ワールドを見にいらしてください。



『利根山光人記念美術館専任研究員一押し作品の紹介 「律動」―祈りの世界』



千田浩文専任研究員一押し作品
「律動」―祈りの世界
※常設展にて展示しています

物が豊かになる反面、心が貧しくなり世界は荒廃に向かっている。人類は現代科学文明に酔い大事な伝統を失っていないか。太古の人々は太陽を祈り雨を祈り命を繋いできた。その祈りの形が鬼剣舞や鹿踊など日本各地に芸能として伝承されている。それを利根山光人が描き続けた。

利根山光人は、メキシコのマヤ・アステカ文明の造形に憧れ太古から現代に繋がる土俗的美意識を称える画家として知られるが、その本質は戦後の日本の生き方を問い続けた画家でもあった。

人間の営みの根源的なものへの感動、現代文明に対する批判的精神、人間は原点に戻って考えるべきだと言い残し世を去った。

その代表作が「律動」で額からはみ出さんばかりの躍動感と魂が感じられ、太陽の画家らしく相対する補色を中心に、より速度感を増すためチューブから搾りながら描く、そこに祈りの姿が映り感動する作品の一つである。

千田 浩文 専任研究員

利根山光人記念美術館開館20周年記念 利根山光人記念大賞展 版画作品募集中！

「北上市立利根山光人記念美術館」は、平成7年に利根山彌恵子夫人からアトリエと作品の一部が北上市に寄贈され、市の芸術文化の拠点とするため平成8年に美術館として開館。昨年、平成28年に開館20周年を迎えました。

これを記念し、画伯の功績を讃えると共に、画伯の志を受け継ぎ、若手芸術家を育成することを目的として「版画作品」の全国公募展を開催します。

応募規定は下表のとおりです。詳細は市のホームページをご覧ください。

お問い合わせは、利根山光人記念大賞展実行委員会（生涯学習文化課 TEL 72-8304）

【応募規定】

規 定	2016年以降作成の版画作品で、額寸法 72.6cm × 54.4cm 以内、縦横自由（大全紙サイズまで）
受 付 期 間	平成 29 年 6 月 1 日(木)～ 11 月 24 日(金)必着
作品搬入期間	平成 29 年 12 月 4 日(月)～ 8 日(金) 午前 9 時～午後 5 時までの間
資 格	平成 29 年 11 月 24 日時点で 39 歳以下の人（国籍は問いません）
点 数	1 人 2 点以内
出 品 料	一般 5,000 円（2 点目無料） 学生（高校・短大・大学・専門学校生） 2,000 円（2 点目無料） 学生（中学生以下） 500 円（2 点目無料）
賞	大 賞 1 点 20 万円（副賞：北上市内で個展開催権利） 準大賞 2 点 7 万円 特別賞 4 点 3 万円（一般 2 点・学生 2 点） 入 選 50 点程度 記念品

「利根山光人展—民話の世界—」 移動展開催のお知らせ～

5月25日(木)まで利根山光人記念美術館で開催しておりました『利根山光人—民話の世界—』は、この度相去地区交流センターで移動展として開催することになりました！

もう一度見に行きたかった方、見に行きたかったけど美術館に来られなかった方…この機会に是非！相去地区交流センターに足をお運びください！

開催期間は平成 29 年 7 月 3 日(月)から 7 月 28 日(金)

時間は平日 9 時から 17 時までとなっております。

※詳しくは相去地区交流センター TEL 0197-67-4355 までお問い合わせください。



鶴女房